

蓮舫氏が出馬表明

民進代表選 前原氏らの動き焦点

民進党の蓮舫代表代行は5日、党本部で記者会見し、岡田克也代表の任期満了に伴う代表選（9月2日告示―15日投票）に出馬すると正式に表明した。蓮舫氏は知名度が高く、現執行部の事実上の後継候補に位置づけられる有力候補。対抗馬と目される保守系の前原誠司元民主党代表や細野豪志元民主党幹事長らの動きが焦点になる。

蓮舫氏は記者会見で



代表選へ出馬表明する蓮舫代表代行（5日、民進党本部）

「この選挙を政権選択のスタートにしたい。富士山から飛び降りるくらい

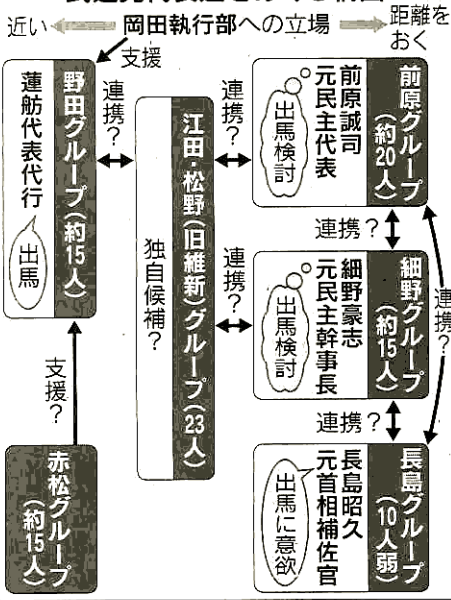
参加する」と議論に前向きな姿勢を示した。「9条は絶対に守る」としながらも「改正に必要な条文は党内でしっかり議論し、提言するのは当然だ」と党内議論を進める構えもみせた。

次期衆院選での野党共闘は「綱領や政策が違ふところと一緒に政権をめざすことはない」「野党連携は『基本的枠組みは維持しつつ、検討を必要とする』との一言に尽きる」と現執行部の見解を

踏襲。共闘を続けるかどうか明言は避けた。蓮舫氏は参院東京選挙区選出で当選3回。野田佳彦前首相が率いるグループに所属する。野田グループは保守系だが、現執行部に近く、岡田代表や枝野幸男幹事長らは蓮舫氏を支援する構えだ。赤松広隆前衆院副議長らリベラル系のグループも支援を検討している。

ただ保守派も一枚岩ではない。旧維新には有力候補の蓮舫氏を支持すべきだとの声がある。憲法論議に前向きな姿勢を見せたことから「慎重だった岡田氏の路線を転換するものだ」（長島氏）と評価する声も出始めた。細野グループも支持に回る選択肢を残している。一方、蓮舫氏が共闘継続を明言しなかったことで、赤松グループの一人

民進党代表選をめぐる構図



前原氏ら保守派は蓮舫氏の路線を見極めながら対抗馬の擁立を検討する。前原氏を中心に細野氏や出馬に意欲を示した長島昭久元首相補佐官が連携をめざし、旧維新グループとの連携も探る。

は「路線を修正するのではないか」と警戒感を示した。ほかにリベラル系の長妻昭代表代行や若手の玉木雄一郎国会対策副委員長も出馬の可能性を模索している。